

令和3年度「モヤヒルズ」に係る事業報告書等評価結果

モヤヒルズについては、（一財）青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

令和3年度の事業報告書等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認、検証し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和4年7月15日

施設名	モヤヒルズ
設置目的	観光・レクリエーション等の余暇活動の場を提供することにより、本市の観光及び地域振興を図り、併せて市民の健康の増進に資することを目的とします。
所在地	青森市大字雲谷字梨野木63番地
指定管理者	【名称】一般財団法人 青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 能代谷 潤治 【住所】青森市大字雲谷字梨野木63番地
指定期間	平成30年4月1日 から 令和5年3月31日 まで（5年間）

評価項目	検証結果	評価結果	
		適正	要改善
管理について	モヤヒルズ管理運営業務仕様書に基づき、適切な施設管理（保守点検・維持管理）を行っている。危機管理体制については、危機管理マニュアルを整備し、防犯・防災・救護の体制を整えている。個人情報の保護については、関係簿冊等は施錠できる保管庫で管理されており、適切な対応がとられている。環境保全については、横内川水道水源保護条例等を遵守する取り組みを実施している。 地域や関係団体との連携については、イベント等の実施時期における新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、感染防止対策を講じた上で、可能な限り事業計画に基づいた事業展開（雲谷そばの栽培・市内事業者との誘客連携）を行っている。職員の研修については、索道関係の研修を中心に年間計画どおり実施している。	○	
運営について	モヤヒルズ管理運営業務仕様書に基づき、適切な運営を行っている。市民の平等な利用の確保については、広報やHPなどで周知を図り、受付順を原則としている。利用者等の要望の把握及びその反映については、意見箱設置により要望の把握に努め、反映に向けては定例会議での検討を行っている。利用促進への取り組みについては、新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、感染防止対策を講じた上で、可能な限り各種大会・イベントの開催に努めている。	○	
事業実施結果について	自主事業について、計画した大会・イベントなどの開催時期における天候や新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、感染防止対策を講じた上で、可能な限り計画通りに実施し、通年で利用できるように取り組んでいる。	○	
収支決算書について	消耗品費、修繕費、燃料費など、経費削減に取り組み、支出を抑える努力を行っている。予算と大きな乖離はない。 指定管理者業務以外の経費の混入などは無く、収支計算書は適正に作成されている。	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況、事業実施状況、収支決算書については適正であり、運営面については、これまでの指定管理者経験を活かしながら適正な管理運営を行っている。

令和3年度のグリーンシーズン（4～10月）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、9/1から9/30まで休館となったほか、計画していた10月までのグリーンシーズンにおける自主事業イベントの約半数が中止となったため、集客が減少し、利用料金収入に大きな影響を受けた。

ウィンターシーズン（12～3月）は、降雪に恵まれ、雪質・量ともに良かったものの、最も集客がある2月（2/1から2/28まで）が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休館となり、営業期間中は、より多くの利用客の誘客を図るため、自主事業イベントを実施したものの、入場者数は大きく減少し、39,563人（前年度比：60.5%）となった。

収支決算では、利用料金収入等が減少した一方で、グリーンシーズン時には事業縮小を踏まえ、支出抑制を図った結果、黒字とした。

利用再開後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応として、類似施設におけるガイドラインを準用した対策を講じる等、来館者の安心・安全に万全を期していただいているが、新年度も引き続き対応いただくとともに、スタッフの健康管理にも十分に留意されたい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市経済部観光課

【電話】 017-734-5153

【メール】 kanko@city.aomori.aomori.jp